

ホームページに戻る <http://www.hi-ho.ne.jp/okajimamic/index.htm>

T613

## ドイツの病院スキャンダルと重厚な病院案内について

岡嶋道夫

### スキャンダルのニュース

最近、史上最悪とも言えるような医療を行っていたドイツの病院が明るみに出たので、その状況を紹介します。これに関連して、ドイツが2005年に作成した素晴らしい内容の病院案内Klinik-Lotseの一端も示すことにしよう。

2007年11月16日にNHKのBS 1で放送している海外ニュースを見ていたところ、ドイツの放送局がドイツの病院で起ったスキャンダルを放送していたが、その内容は以下のとおりである。

「ある病院で、長年にわたり考えられないような治療が行われてきたことが明らかになった。現在も診療が行われているが、ここにきて州政府は病院閉鎖を検討し始めた。また医師会も極端なケースであると驚いている。

ある患者が、腎臓壊死で腎臓を摘出することになり、2回手術を受けたが、胆嚢と肺の一部を切除し、腎臓を取らなかったことが解剖で判明した。死因は腎臓壊死による体内中毒。それなのに死亡診断書の死因は心筋梗塞となっていた。

被告はかつての医長であり、病院の所有者であった。今は開業免許を剥奪されている【こ

の文章はニュースのままです、ドイツには医師などが個人的に所有する私的病院が少しあります】。19人の患者が医療ミスの対象になっており、6人が死亡している。必要のない胆嚢や盲腸の手術を行っていたが、診療費を請求するためであった。

検察は過失致死、過失傷害、故意傷害罪で調べている。この事件は患者の訴えによって明るみに出た。医師は消毒薬と同じ効果があると言ってレモン汁を傷口に使用していた。検察はこの医長の下で働いていた10人の医師についても、幫助または救助を怠った疑いで調べている。もし、これが事実であると確認されればドイツ史上最悪のものとなる。」

### このテレビを見て筆者は病院案内で 次のようなことを調べてみた

ドイツは2003年に公的医療保険の法律に新たな条文を書き加え、ドイツの総ての病院の2004年における現状を調べ、これを「病院案内」として2005年に発表することを義務づけた。これによって、約2,050ある病院の詳細な内容をインターネットで誰でも自由に見ることができるようになり、患者は病院の診療内容を知り、選択しやすくなった。開業医が患者に入院を勧める場合に、必ず病院を二つ示し、患者に選択させることになっているが、

患者はそれ以外の病院を選ぶこともできる。一方、この「病院案内」は、病院の実情を透明にすることによって、質の向上のマネジメントに役立たせようという大きな目的もある。

テレビ画面にAntonius-Klinik(病院)の看板が写っていたので、「病院案内」でAntoniusで検索したところ、49の病院が出てきたので、識別不能であった。

そこで、ドイツ医師会雑誌がオンラインで週に70本以上の医学関連ニュースを無料で送ってくるので、それを調べたところ、11月13日付のニュースにこの件が載っていた。テレビより簡略な記事であったが、そこには病院の所在地が出ていた。そこで再び「病院案内」でその病院を引き出したところ、人口3万の市で、そこにはこの病院が一つあるだけで、ベッド数は103(内科55、外科48)となっていた。

この市は西と北10kmのところオランダとの国境があり、東15kmには人口26万の都市(病院6、うち1病院は精神科専門、通常病床数合計約2,000)があり、南10kmには人口3.4万の市

(病院1、通常病床数343)が存在することが分かった。

「病院案内」は膨大かつ極めて深い内容を持っているが、病院の医師については以下のような形で数が記載されている。

医師総数

研修医

研修を完了した医師【専門医】

そこで、問題の病院の医師を調べると、

医師総数 8

研修医 0

研修を完了した医師 3

となっていた。つまり8人の医師がいるが、3人は研修を完了し専門医資格を得ている。しかし、残り5人は専門医資格を持たないし、研修医でもない。

そこで、この辺をもう少し調べてみることにした。ドイツ連邦医師会はホームページで、専門医、勤務医、開業医、年齢、性、州など、各種の要素に基づいた医師の詳細な統計データを毎年公表している。その中から専門医資格を有する医師と、有しない医師の統計を眺めてみると以下のとおりである。

ドイツ全体の病院勤務医数 専門別及び年齢別 2005年12月31日

	総数	年齢					
		35歳以下	35-39	40-49	50-59	60-65	65以上
専門医でない 医師の数と%	65 577 44.8	39 567 91.9	13 124 43.8	9 496 21.3	2 875 13.6	466 6.3	49 10.5
各科専門医		省略					
合計	146 511	43 064	29 934	44 518	21 186	7 342	467

この表で「専門医でない」に含まれる医師の多くは研修医である。ドイツの多くの病院では、研修医と研修を完了した医師を合計すると、医師総数に等しくなる。ドイツではかなり以前から、医師免許を取得し、臨床に従事しようとする医師は、卒後研修規則で定められた研修医コースのどれか一つを選んで研修しなければならないことが義務づけられている。

上記の問題の病院では、内科と外科に従事する8人の医師のうち5人が専門医でないが、この割合はきわめて高い。筆者の勝手な推測で間違っているかもしれないが、専門医認定試験に不合格であった医師が、この病院の内科と外科に集まっているような印象を受ける。このような状況であるため、医長にとんでもない医師がいても、それに引きずられてきたのかもしれない。しかし、この点は今後の検査の捜査の結果を待つことにしよう。

なお、ドイツでは専門医資格がない医師は開業できない。家庭医として開業しようとする場合も、かなり以前から一般医学の専門医資格が必要となっている。

ちなみに、この病院はノルトライン州に存在するが、そこでの専門医試験の不合格者は、最近では毎年7パーセント前後である。

参考にした病院案内Klinik-Lotseには、各種の項目が含まれていて、大変奥深いものである。例えば、各科ごとのベッド数、その病院で可能な治療、所有する機器、病棟及び外来の症例数、主な傷病のDRG、ICD分類と数などである。筆者は、これらをこのホームページで逐次紹介していきたいと思っている。また、この病院案内の2007年版が準備中と聞いている。

この病院案内から、各病院が独自に作成しているホームページにリンクできるようになっているので、それらを開いてみるのも楽しみであり、ドイツの病院の実際を伺い知るのに役立つ。医療について詳しく解説している病院、病院の全景や設備の写真、スタッフの写真など様々であるが、日本の病院のホームページに見られる医師個人の趣味といったものは載っていない。

□